

師崎港観光センター周辺整備調査業務委託
(先導的官民連携支援事業業務委託)
仕様書(案)

1. 業務名

師崎港観光センター周辺整備調査業務委託

2. 業務委託履行期間

契約締結の日から令和3年3月9日まで

3. 業務の目的・概要

師崎港観光センターは昭和50年の竣工から45年が経過し、耐震性能の低下など老朽化が著しい。また、施設内外の商業施設も撤退が続いており、観光拠点としての機能も低下している。

加えて師崎地区は繁忙期には多数の観光客により交通渋滞が発生し生活に支障をきたす場合がある一方で、閑散期との駐車需要に大きな差があり、繁忙期の収容台数に合わせた駐車場整備は過大なものとなる可能性がある。そのため民営駐車場や臨時駐車場を活用することで、師崎港観光センター周辺の駐車場を必要最小限のものとしつつ、渋滞の解消による地域住民の生活向上と観光客の利便性向上が両立した駐車場整備を検討する必要がある。

本業務は、老朽化の進む師崎港観光センターを地域の海産資源等を活用した飲物販機能を強化した新たな観光拠点として再整備するにあたり、公費負担を最小限に抑えつつ渡船及び誘客施設としての機能を最大限に発揮することを目的として、官民連携事業の導入や実施に向けた検討のための調査を行うものである。

4. 業務委託の内容

(1) 基本事項の整理

①前提条件の整理、周辺・類似施設の調査

- ・国内港湾施設等のコンセッション/PFI事業の事例調査及び情報の整理
- ・コンセッション事業実施にあたっての法的制約等の確認

②新観光センター必要機能の検討

- ・既存の「師崎港周辺整備基本計画」を基に新観光センターに必要となる機能を検討

③新観光センター駐車場収容台数の検討

- ・新観光センター駐車場及び周辺臨時駐車場において、繁忙それぞれの時期で確保すべき収容台数を検討

④臨時駐車場の運用方法

- ・繁忙期の必要収納台数と観光客の動線を意識した臨時駐車場配置計画の検討(駐車場の新設の検討を含む)
- ・各種民営駐車場等との連携方法の検討

(2) 民活手法導入可能性調査

①民間意向調査の実施

・一連の検討内容に関して、関係者に対しヒアリングを実施し効果的な運営スキーム、事業の実現可能性等に関して調査

②事業スキームの検討

・駐車場等との一体運営を含めた新観光センターの整備・運営スキームについて、B T+コンセッション方式等を検討

・本事業における官民の役割分担の大枠について検討

・V F M、運営権対価等の試算

・公設公営等その他の手法による整備との比較検討

(3) 成果の取りまとめ、完成報告書の作成

・本業務は、国土交通省の実施する令和2年度先導的官民連携支援事業（第1次）に応募するものである。

・また今後の事業化に向けたスケジュールを盛り込むこと。

5. 成果品

・報告書 10部

・協議書、打合せ記録、調査結果及び活用したデータ等 一式

・上記電子データを保存したCD 1枚